
ある恐怖

s h o w

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある恐怖

【Nコード】

N6358F

【作者名】

s h o w

【あらすじ】

ある人が抱いたある恐怖逆立ちを試してみた

その人はいつも、ある恐怖に怯えていた。

それは影のように忍び寄りそつと背後に立つのだ。振り向くことも、立ち止まることさえできない恐怖にいつも一人で怯えていた。

ある日、一匹の蛇がやってきた。

「そんなに怯えてしまつて可哀相に。どうだい、僕が君を守つてあげるよ。」

蛇は赤い舌を突き出してにつこり笑うと、その人の腹に巻き付いた。

「ほら、これでもう大丈夫だよ。」

なるほど、その日から黒い恐怖に怯えることはなくなった。安らかな日々が訪れた。

しかししばらく経つと、またその人は恐怖の影を見るようになった。

蛇はいつでも、腹にいた。

ある日、一羽の鳩が飛んで来た。怯えているその人を見て、鳩はこういった。

「そんなに怯えてしまうのは、そのお腹の蛇のせいよ。」

その人はとても驚いた。蛇はいつもとても親切で、心強かったのだ。

「どうしてだい、僕はこの人を守っているんだよ。」

蛇は怒って鳩に反論した。

「蛇なんかじゃなく私があなただの恐怖を忘れさせてあげる。」

蛇と鳩とは、とうとう争い出してしまった。困ったその人は、自分の目の届く、けれども最も遠いところに一匹と一羽を離しておくことにした。そこで、一羽の鳩を頭の上に乗せ、一匹の蛇を足に巻いた。

一羽の鳩と一匹の蛇のおかげで、その人はまた安らかな日々を過ごすようになった。

けれども、ふとある恐怖に襲われることがある。そんなときその人は、逆立ちを試みるのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6358f/>

ある恐怖

2010年10月20日19時00分発行